

2020 年度 甲南大学大学院 入試問題

区 分	研究科	専 攻	試験科目	試験時間	試験日
修士一般 (2次募集)	社会科学 研究科	経済学専攻 研究コース	経済理論	60分	2020年2月15日

以下の問題の、どちらか1問を選択して解答しなさい。

【問題 1】 一律の単位価格を課す売り手独占市場について、以下の問いに答えなさい。図や数式を用いる場合は、グラフや記号の意味を明記すること。

1. 売り手独占市場に「供給曲線」は存在しない。それはなぜか説明しなさい。
2. 「独占の非効率性」とは何か、具体的に説明しなさい。
3. 「需要の価格弾力性」とは何か、簡潔に説明しなさい。
4. 独占価格が限界費用を上回るマークアップ率を「ラーナーの独占度」という。需要の価格弾力性の大きさとラーナーの独占度の関係を説明しなさい。
5. 売り手が必ずしも一律の単位価格を課さないことを「価格差別」という。価格差別をする場合としない場合では、どちらが独占の非効率性が大きいのか説明しなさい。

【問題 2】 金融緩和の景気刺激効果について、以下の問いに答えなさい。図や数式を用いる場合は、グラフや記号の意味を明記すること。

1. マネーストックの増加が短期的に実質 GDP を増加させる理由を、「流動性選好理論」に基づいて説明しなさい。なお名目利子率と実質利子率の違いに注意すること。
2. マネーストックの増加が長期的には実質 GDP を増加させず、「貨幣の中立性」が成立する理由を説明しなさい。
3. マネーストックの増加が短期的にも実質 GDP を増加させない可能性を、「流動性のわな」の観点から説明しなさい。